

[専門教育科目/公衆衛生看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護学概論Ⅰ	NSP21_006	必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
山崎 洋子	301	y.yamazaki	月曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	公衆衛生看護学の目的、対象方法の概要を学ぶ。自分自身の生活・健康・環境とヘルスプロモーションの概念を関連付け、集団や地域住民を対象とした公衆衛生看護学の目的、対象、方法の概念を理解する。対象の健康レベルに応じた援助方法について、同時双方向型授業や遠隔授業で学ぶ。				
学習上の助言	主体的に授業、演習に参加できるように事前学習に取り組んでください。				
教科書	最新 公衆衛生看護学 第3版/2019年版/編:宮崎美砂子 他/日本看護協会出版会				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆衛生看護学(第2版)/編:上野昌江 他/中央法規出版</li> <li>看護法令要覧 最新版/編:勝又浜子 他/日本看護協会出版会</li> <li>公衆衛生がみえる 2019-2020/メディックメディア</li> <li>厚生省の指標 増刊 国民衛生の動向 2019/2020/厚生労働統計協会</li> </ul>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	個人・家族・地域など地域生活集団の構成を理解し、生活と健康との関連を説明することができる。	NS(1)、(4)			
②	公衆衛生看護を定義し、その活動の目的・対象・特徴を説明することができる。	NS(1)、(4)、(5)			
③	ヘルスプロモーションの概念を習得し、この考え方や背景を説明することができる。	NS(3)			
④	公衆衛生看護活動に必要な看護援助技術を習得し、実践事例を用いて、その技術・意図を説明できる。	NS(2)、(5)			
⑤	保健医療福祉サービスの中で機能する看護専門職の役割を説明することができる。	NS(1)、(2)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	公衆衛生看護とはなにかⅠ 公衆衛生看護の概念	同時双方向型授業	これまでに学習した看護の対象、目的について考えてくる。 講義の内容を整理する。	4	
2	公衆衛生看護とはなにかⅡ 公衆衛生看護の活動	同時双方向型授業	教科書を読む。資料を基に、自分がこれまで受けてきた保健医療福祉サービスを書き出す。	4	
3	公衆衛生看護の歴史	同時双方向型授業	我が国の現代史(特に第2次世界大戦から)について復習しておく。 講義の内容を整理する。	4	
4	公衆衛生看護活動に必要な理論 ヘルスプロモーションの概念	同時双方向型授業	ヘルスプロモーションについて調べる。 講義の内容を整理する。	4	
5	ヘルスケアシステムの中で機能する看護	同時双方向型授業	自分の出身地について人口や面積、医療・福祉・保健・施設・労働の場等を調べる。 大学周辺の医療・福祉・保健施設等を調べる。	4	
6	公衆衛生看護活動に必要な援助技術の特徴	同時双方向型授業	教科書を読む。 講義の内容を整理する。	4	
7	家族を単位とした相談援助	同時双方向型授業	配付事例を熟読する。 活動事例から公衆衛生看護活動の特徴を抽出する。	4	
8	地域ケア体制づくり	同時双方向型授業	地域ケア体制について、まとめる。	4	
試	定期試験				

[専門教育科目/公衆衛生看護学]

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	20	0	10	10	100
総合力指標	知識・技術力	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	10	20
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験：基本的な知識と公衆衛生看護に関する考えについて問う。				試験後の講義で重要な事項を解説し、知識の定着を図る。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	課題に対して適切に回答できる。				レポートは後日コメントして返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①	✓	課題に対して、適切に回答ができる。				レポートと一緒に後日コメントして返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	出席日数と日々の受講態度、グループで行う演習等を総合的に評価する。				問題が生じた場合は、個別に面談を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
授業補助：望月 宗一郎、渡邊 美樹、伊丹 幸子 <ul style="list-style-type: none"> <li>この科目は、担当教員が保健所・市町村における行政保健師活動および訪問看護活動、さらに大学病院における医療連携室での退院調整や療養生活相談等の経験を元にして、内容を構築している。</li> <li>毎回講義に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として、理由のない欠席はしないよう心がけること。</li> <li>学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。</li> <li>Teamsを使った同時双方向型授業を実施するため、通信容量無制限のWifi環境を推奨する。</li> <li>今後、新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバス内容が一部変更となる可能性がある。</li> </ul>							